

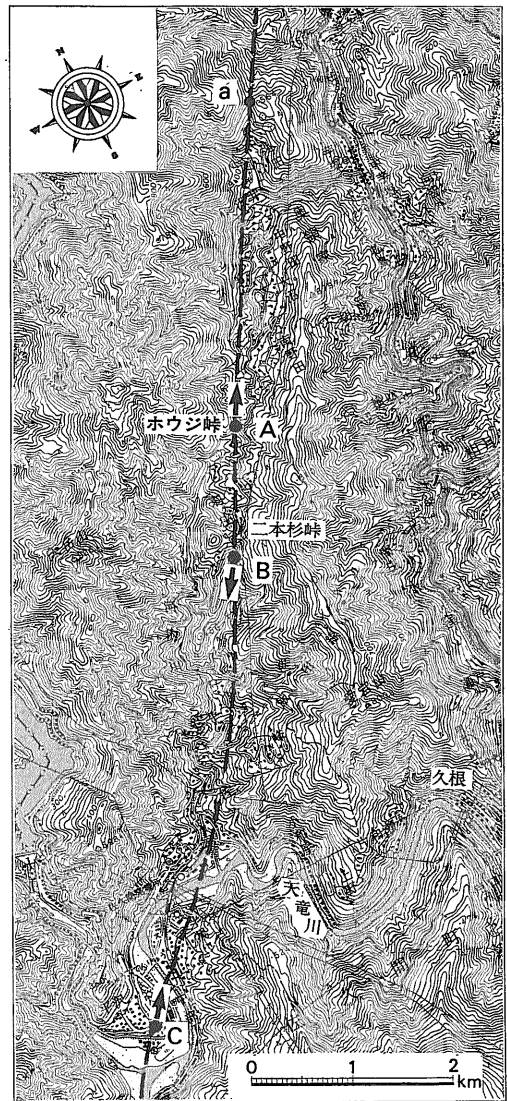
天然記念物：ハウジ峠の中央構造線

佐藤 興平¹⁾

わが国には、国指定と都道府県指定のものを合わせると、400件を超える地質系天然記念物がある。本誌では、1992年5-6月号に特集を組み、これらを一括して紹介した。その後も少しずつではあるが、指定件数が増えている。昨年(1993)10月号の表紙に掲載した岩手県指定の天然記念物「三王岩」はその一例である。そして、今年になって、中央構造線が静岡県の天然記念物に指定されることになった。これは地元の佐久間町が申請していたもので、「ハウジ峠の中央構造線」の名称の指定通知書が、3月25日に県教育委員会から公布された。管理には佐久間町があたる。

指定を受けたのは奥領家付近の中央構造線で、ハウジ(北条)峠はその断層破砕帯に位置する(第1図)。指定範囲は峠の展望広場88m²であるが、その趣旨は中央構造線が最もよく観察できる地点だということにある。広場に立って北東の奥領家側を眺めると、断層地形が明瞭に観察される(写真1)。また、広場北側の林道には領家帯と三波川帯の接触部があり、この露頭を整備して両者の関係を観察し易くする予定である。類似の断層地形や露頭は他にもあって(写真4,5参照)、すでに合計9地点に解説板が建てられ、見学コースを示したパンフレットも準備されている。佐久間町は、これら全体を学術・教育上貴重なものと位置づけ、保存・整備に力を入れると共に、町のシンボルのひとつとしても重視している。

断層関係の天然記念物はこれまでに20件ある(上記の地質ニュース特集号参照)。しかし、その多くは断層面の擦痕といった“もの”が対象で、広域的な視点から指定された例は少なかった。この点、今回の「ハウジ峠の中央構造線」は、日本最大の断層というだけでなく、西南日本の内帯と外帯を分ける



第1図 静岡県佐久間町の中央構造線付近の地形。A, B, Cは写真1, 3, 4の撮影地点と方向(矢印)。断層の位置は平賀勝郎氏の「ご好意による。国土地理院5万分の1地形図「佐久間」使用。

1) 地質ニュース編集委員会

キーワード：中央構造線、天然記念物、静岡県、佐久間町、ハウジ峠、奥領家、断層地形



写真 1

ホウジ峠から奥領家の今田地区を望む。矢印(第1図のa)を中央構造線が通る。その左側が領家変成岩類、右が三波川変成岩類。

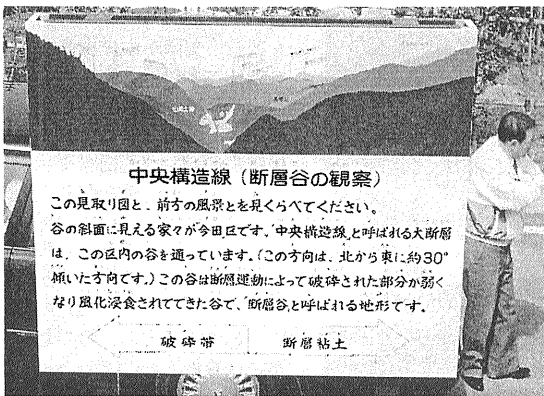


写真 2 ホウジ峠に立つ解説板。

近くにある露頭を整備し、領家帯と三波川帯の接触部が直接観察できるようにする予定である。



写真 3 ホウジ峠の「民俗文化伝承館」。江戸時代の民家を移築したもので、週末には郷土料理を提供。

構造境界という点に着目し、かなり広い範囲の地形や露頭を保存・活用しようとする発想から出発しているところに大きな特徴がある。

中央構造線が指定された例はこれまでに2件あるから(愛媛県内、国と県指定各1件)、「ホウジ峠の中央構造線」は3番目ということになる。しかし、愛媛県内の例はいずれも河床の小露頭であって、三波川帯と領家帯の岩石が直接接する断層ではない。従って、「ホウジ峠の中央構造線」は、中央構造線についてのより本格的な天然記念物とも言え

よう。

西日本で東西に走る中央構造線は、佐久間町付近で北に向きを変え、赤石山地の西部を一直線に諏訪湖方面へとぬけていく。傾斜も西日本ではゆるい北落ちが何か所かで指摘されているのに対し、赤石山地では高角または東落ちである。つまりホウジ峠付近は中央構造線の形態が大きく変わる部分にあたるのである。

白亜紀に発生したとされる中央構造線は、その後



写真4

第1図のB地点(二本杉峠近く)から南西方向に佐久間町の中部天竜一浦川方面を望む。この直線的な谷も中央構造線のつくる地形である。



写真5

第1図のC地点(中部天竜)から北東にB地点方面を望む。矢印が中央構造線の通る二本杉峠。C地点からは左右非対称な谷地形が観察される。急峻な左側の領家帯(内帯)は花崗岩やマイロナイトなどからなり、土地が痩せていて松しか育たない代わりに松茸がとれるという。比較的なだらかな右側の三波川帯(外帯)の方が杉がよく育ち、町の林業には重要とのこと。

も様々な変動を受けてきた。赤石山地は中新世に日本海が開いた時の変動を最も激しく受けた地域のひとつである。断層粘土などについて中新世の放射年代が得られるように、中央構造線もこの影響をまぬがれなかった。そのうえ赤石では第四紀の変動も無視できない。新しい変動史の陰に隠された古い記録を読み取ることは容易ではなく、白亜紀以降の長い歴史の刻まれた中央構造線の全体像を解明する研究は、今後も続けられるであろう。中新世以降の変動要素が大きく残る赤石山地の南北系の部分と西日本の東西系の主要部との境界部にあたる奥領家付近が、今後の研究に重要な手がかりを提供するかも知れない。

筆者らが佐久間町を訪れた4月には、町議会関係の多くの方が案内して下さいました。平賀勝郎氏(時習館高校元校長)と阿垣親氏(町議会議長)からは貴重な資料を頂いた。以上の皆様に深謝する。天然記念物の詳細については、下記に問い合わせたい。

問い合わせ：〒431-39 静岡県磐田郡佐久間町佐久間
2237 佐久間町教育委員会
Tel: 0539-65-1194

SATO Kohei (1994): Median Tectonic Line at the Hoji pass. Shizuoka Prefecture: a natural monument.

〈受付：1994年5月20日〉